

R P P Cメール

リサイクルポータル推進協議会

第538号(平成26年7月23日発行)

【今週号の主な内容】

- 《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません。
- 《RPPC 事務局からのお知らせ》 今週のお知らせはありません
- 《リサイクルポータルに関連する最新の情報》
 1. 新日鐵住金、「カルシア改質土」の海域利用拡大に取組
 2. SCOPE研究開発報告会で浚渫土砂を用いたブロック製作技術の開発など
 3. 国土交通省大脇港湾局長が就任の抱負

=====

1. 新日鐵住金、「カルシア改質土」の海域利用拡大に取組

新日鐵住金は、製鉄過程で発生する鉄鋼スラグの海域利用拡大に向け、港湾関係団体の協力を得て浚渫土との混合材である「カルシア改質土」の施工マニュアル化を検討している。港湾工事では航路・泊地の維持浚渫や国際コンテナ、バルク戦略港湾政策実施による船舶大型化への対応などで大量の浚渫土砂が発生し、その土砂処分が課題になっている。製鉄過程のリサイクル材である鉄鋼スラグと軟弱な浚渫土を混ぜて製造するカルシア改質土は深掘跡地の埋め戻し材や干潟造成材などとしてその利用が期待されている。製鉄工場は臨海部や港湾部に立地しているため、港湾関連事業への利用が拡大すれば、船舶輸送を通じて経済的かつ大量の輸送が可能になり、有効な資源利用に繋がる。

【港湾空港タイムス】

2. SCOPE研究開発報告会で浚渫土砂を用いたブロック製作技術の開発など

(一財)港湾空港総合技術センター(SCOPE)は7月7日、都内会場でSCOPE研究開発助成(平成25年度)報告会を開催した。

この中で、九州大学平澤教授から「浚渫土砂を用いた環境に優しいブロック製作技術の開発」が報告された。

同研究開発テーマについて平澤教授は、実験結果を踏まえて石灰混合率およびスラグ混合率が高い程、一軸圧縮強度が増すことをデータに基づいて示すと共に、25年度に実施した大型脱水装置試験の概要と試験結果等について報告した。脱水圧力を強くして完全に脱水すると固まらなくなるため、用途に応じた強度を持たす必要があることなどと述べた。

【港湾空港タイムス】

3.国土交通省大協港湾局長が就任の抱負

7月8日付で国土交通省港湾局局長に就任した大協崇局長は就任の抱負として、「港湾局が継続して取り組んできた課題を引き続き実現していくことが重要」とし、東日本大震災の復旧・復興の加速化、国際コンテナ・バルク戦略港湾政策、防災・減災対策等をしっかりと進めていきたいと述べた。また27年度概算要求の方向について、国際コンテナ戦略港湾、国際バルク戦略港湾施策を重点的に進めるほか、予防保全計画に基づく老朽化対策、安心・安全の取組み、地場産業の活性化を支える港湾整備やクルーズ振興等が重要、との考えを示した。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者:RPPC 広報部会

部会長:徳田 英司 新日鐵住金(株)

部会員:細貝 隆司 五洋建設(株)

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設(株)

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団(内)

担当:本野、大矢、榎並 URL:www.rppc.jp E-mail:rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####